

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	15
事業名	城山球場・テニスコート経費	会計	款	項	目
		一般	10	6	2
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課	
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名	スポーツ振興係	
	3-1-4	スポーツの振興			
主要施策	①スポーツ施設の整備充実・有効活用				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民・使用者（団体）	目的（対象がどのような状態になっているか）	スポーツを通じたコミュニティ広場としての位置付けを行い、住民等の体力や健康の増進を目指す。
事業内容	住民が利用しやすいよう、利用啓発に努めるとともに、施設管理上、過度な負荷のかからないことを前提に、幅広い競技について使用を呼びかけ運用していきたい。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）		
	1	年間利用者数	23,772	27,097	12,742	人	↑	27,500	
2									
3									
4									
5									
			令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B				6,830	6,236		7,149		
財源内訳	直接事業費A			5,888	5,294		6,669		
	うち一般財源			3,513	3,513		4,469		
人件費（千円）B				942	942		480		
内訳	一般職員（人・千円）			0.14	924	0.14	924	0.07	462
	臨時職員（人・千円）			0.01	18	0.01	18	0.01	18

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	利用者が利用しやすい方法を検討する。	③取組の課題	保守点検にみる経年劣化が顕著である。
②R2年度に実施した取り組み	利用者が利用しやすいよう施設の適切な維持管理に努めた。	④今後の改善計画	施設の保守点検を行い維持管理を適切に実施する。